

平成27年度 学校関係者評価書

学校名 和歌山市立 有功東小学校

作成日 平成28年 3月 3日

	開かれた学校	豊かな心	確かな学力	生活科・総合的な学習等研究推進
本年度 対する 重点 目標に 見	○「信頼される学校」を学校運営の基本方針に据えた姿勢は、的を射ている。 ○地域の人材活用が進んできている。より一層の充実を図り、地域のすばらしさに気づき、地域を愛する子どもを育ててほしい。 ○地域の「共育おもしろ運動会」や「有功元気まつり」への参加は地域の方々とふれあえる良い機会となっている。	○地域に出向き、体験活動を通して豊かな感性を育てようとしていて、よい結果につながると思う。 ○「いのちの日」を定めることは、心の教育として特色ある取組である。 ○図書室や「うちどくコーナー」が充実しつつある。また、外部から読み聞かせの講師も招いている。環境を整えることは、子どもたちの読書意欲を高めていると考える。	○共に学びあい、問題解決する力は、全ての教科の基本である。より一層「確かな学力」の向上をめざして取り組んでほしい。 ○書くことや話すことは、自分の考えを持ち、深めるうえで大切である。より一層の充実で努めてほしい。 ○家庭学習の充実は子どもの伸びにつながる。学年に応じた家庭学習プランの作成を強く望みたい。	○生活科や総合的な学習は、有功東小の伝統的な取り組みである。さらに校区の「人・もの・こと」に目を向け、地域を知り、地域を愛する取り組みを進めてほしい。また、生活科や総合的な学習の時間で培っていく力を確かな学力につなげてほしい。
取組 の 具 体 的 方 策 に 対 す る 意 見	○11月に研究発表会を開催し、市内の教職員に対し、実践を発信した。有功東小らしさがうかがわれる。 ○地域の回覧板に「六十谷の子」を定期的に発行したため、学校の考えや子どもの様子がよくわかった。	○多様な体験活動を通して「世界一素敵な学校と一緒に作ろう」と呼びかけ、子どもたちの合言葉になっている。子どもたちの心に訴え、進むべき方向性を示すことにもなっている。 ○「自分が好き、仲間が好き」と実感できる子どもの育成や読書活動の推進に努めていることは、豊かな感性や想像力を育み、子どもの良さを引き出せるものと思う。	○校内研修を充実させ、教師の授業力の向上に努めていることは評価できる。また、学習態度の育成にも取り組んでいるため、学校行事や集会での子どもたちの活動の様子や話を聞く態度、見る態度が良くなった。 ○どの学年も体験的な学習に取り組んでいる。実物を通して学ぶことは子どもの確かな学力につながるものと思う。	○25・26年度の2年間、和歌山市教育委員会の研究指定を受け、研究に取り組んでいる。たゆまず研究し、実績を重ねていくことは、教職員の自信と誇りになり、教師力を高めていくことにつながる。また、子どもたちの学力向上や子どもたち自身の自信と誇りとなるであろう。
見 取 組 の 成 果 と 課 題 に 対 す る 意 見	○禁煙教育や薬の正しい飲み方・人権教育など専門家を招き出前授業が実施された。 ○ゲストティーチャーの活用地域の各種団体との世代間交流活動を通して、地域力を採り入れ、地域を愛することにつながっている。 ○学校だより、地域共育誌「六十谷の子」を通して、コミュニケーションが図られ、地域の声を活かそうとしている。	○見守りのとき、元気に笑顔で挨拶を交わしてくれる子どもが多く気持ちがよい。 ○冬場の登下校時、ポケットに両手を入れている子がある。 ○非常時の集団下校は異学年の子どもたちが一緒に帰るシステムであり低学年の子の保護者にとってはありがたい。 ○日曜参観後の人権教育講演会は「いのちや家族の大切さ」をテーマであり、子育て中の保護者にはいいお話であったと思う。	○参観日で、合奏や歌、色々な学習発表が心がこもっていた。保護者に感謝の作文を読んだり1/2成人式もよかった。 ○子どもたちの個性を伸ばす教育が必要であると感じる。 ○「スタディタイム」や「アフタースクール」の取組は、学習習慣の定着や基礎学力の向上につながるものと期待している。 ○家庭学習の本読みは、1年から6年まで続けている。教科書以外の読書をする家庭学習はいいことである。	○生活科や総合的な学習の時間の学びは、他の教科での学習を活用したり、発展させたりするもので、思考力や判断力などを育てることにつながる。子どもたちにとって生きてはたらく力になるものだと思うので、しっかりと取り組んでほしい。
方 次 年 度 に 対 す る 向 け て の 意 見 の 改 善	○出前授業や体験活動で学校外のたくさんの方々が子どもたちに関わってくれた。人材リストを充実させ、「人から学ぶ」ことを続けてほしい。 ○学校だより、六十谷の子、ホームページなどを通じて、今後も積極的に情報を発信し、学校の取組や子どもたちの様子を知らせてほしい。	○家庭環境(スマホの活用方法等)は子どもの育成を大きく左右する要素である。保護者に対して更に啓発をしていただきたい。 ○読書は人格形成の基とも言える。豊かな感性や想像力を育ていけるよう、積極的な推進をお願いしたい。 ○子どもを巻き込む事件が多い中、安全・安心につながる取組の充実を望みます。	○授業参観は、どの教室も工夫された授業であった。子どもたちの学力を高めるためにも、楽しくわかりやすい授業を続けてほしい。教室の掲示物はとても丁寧である。子ども一人一人の頑張っている様子がよくわかった。 ○家庭学習は、確かな学力をつけるうえで大きな役割を担う。学校と家庭が連携して家庭学習の充実に取り組んでほしい。	○市教委の研究指定等で得た財産をもとに、さらに研鑽深め、子どもたちの学習に生かして行ってほしい。

その他学校運営の改善に関する意見

○教職員の異動等により、若い教職員が増えてきている。さらに開かれた有功東小を創出していくためには、教職員を育て、より高い実践力をつけて行ってほしい。
○放課後、夕方遅くまで公園で遊んでいる子どもがある。子どもたちを取り巻く安全確保が変わりつつある中、安全教育の一層の充実を期待したい。

